

## 令和2年度 スクールソーシャルワーカーの実施状況

青少年育成課 教育相談センター

配置中学校区数 12校区

SSW実人数 10名

## 1 SSWの年間勤務時間数及び年間勤務日数

① 年間勤務時間数	① 5,046.9	時間
② 年間勤務日数	② 612.0	日
③ 平均勤務時間数（一日当たり）①/②	③ 8.2	時間/日

## 2 支援の対象となった児童生徒数

(実人数)

- ① 小学校  
② 中学校  
③ 特別支援学校

	対象児童生徒数（人）	
		うち継続者数
①	854	704
②	467	368
③	1	0
計	1,322	1,072

3 継続支援対象児童生徒の抱える問題と支援状況  
(複数選択可)

- ① 不登校  
② いじめ  
③ 暴力行為  
④ 児童虐待  
⑤ 友人関係の問題（②を除く）  
⑥ 非行・不良行為（③を除く）  
⑦ 家庭環境の問題（④、⑪を除く）  
⑧ 教職員等との関係の問題  
⑨ 心身の健康・保健に関する問題  
⑩ 発達障害等に関する問題  
⑪ 貧困の問題（⑦を除く）  
⑫ その他

件数	支援状況（件）				
	(a)問題が解決	(b)支援中であるが好転	(c)支援中	(d)その他	
①	445	0	53	344	5
②	21	7	4	6	0
③	11	0	5	4	0
④	61	10	10	34	5
⑤	23	1	7	12	1
⑥	42	3	14	22	3
⑦	428	8	59	314	5
⑧	13	0	2	4	1
⑨	172	2	27	82	0
⑩	381	6	40	321	0
⑪	58	1	7	10	0
⑫	255	2	8	255	1
計	1,910	40	236	1,408	21

## 4 訪問活動の回数

- ① 学校  
② 家庭  
③ 教育相談センター（適応指導教室含む）  
④ 教育委員会（③を除く所管機関も含む）  
⑤ その他関係機関

①	772	回
②	354	回
③	34	回
④	7	回
⑤	85	回
計	1,252	

## 5 成果と課題

- ・福祉的な視点から支援を行うことにより、学校と家庭との橋渡しの働きを担うことができた
- ・支援の対象となった児童生徒や支援件数の増加より、学校や家庭からのニーズがより増えてきていると考えられる
- ・ニーズが高まる一方で勤務日数が少ないため、深い関わりができていく
- ・関わりが深くなると時間外勤務が大幅に増える
- ・スクールソーシャルワーカーの支援力量の向上や、業務を円滑に遂行できるように、教育相談センターにスクールソーシャルワーカーの基幹となる学校支援ソーシャルワーカーを配置していく

